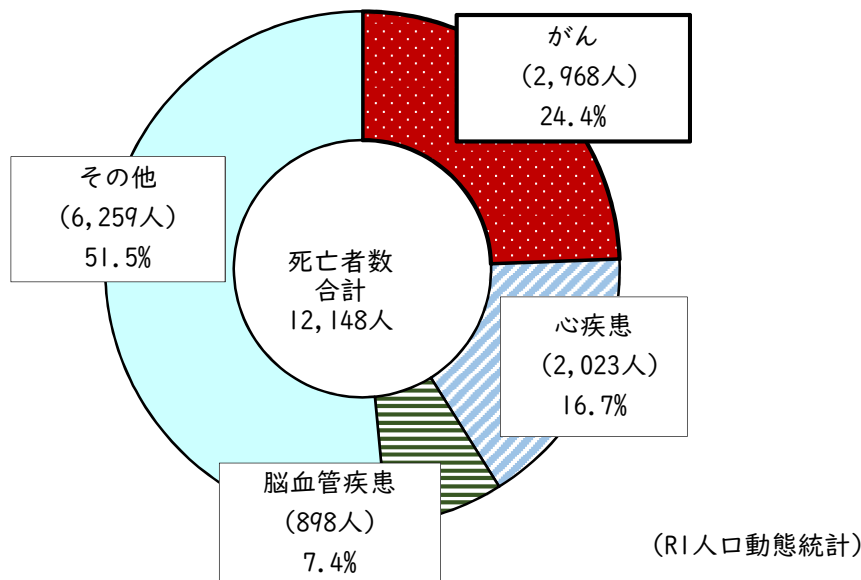


# 17 香川県の現状（がん）

## ①がんによる死亡の現状

### ア 原因別にみたがんの死亡

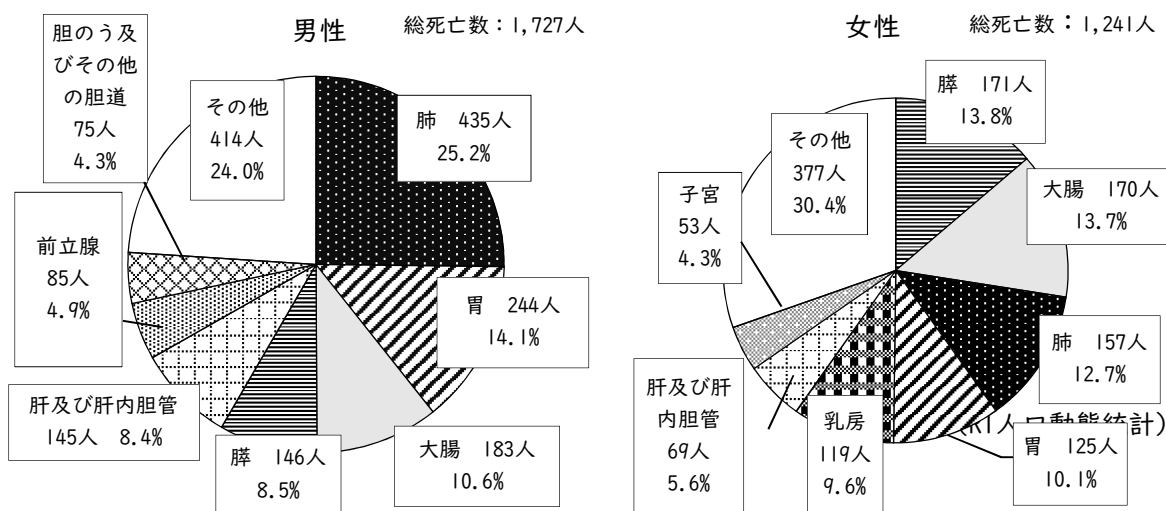
三大生活習慣病による死亡者数(令和元年)



令和元年の死亡者数のうち、がんが原因で亡くなった人数は2,968人で、全体の24.4%を占めている。

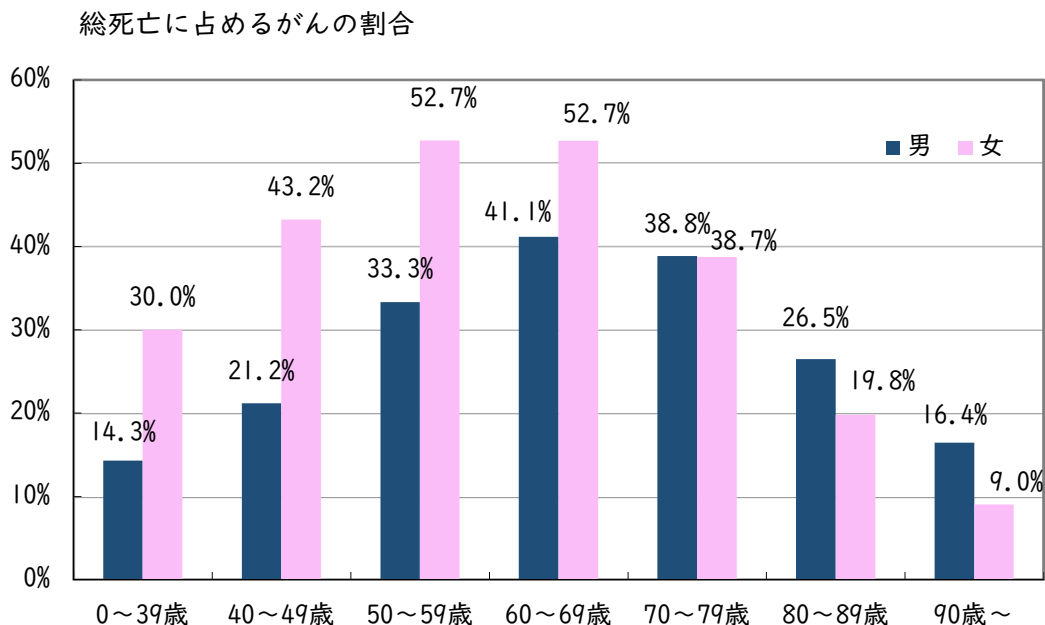
### イ 男女別にみたがんの死亡

がんの主な部位別にみた死亡者数



令和元年の、男女別のがんの死亡をみると、男性は1,727人、女性は1,241人である。男女別に部位別の内訳をみると、男性では「肺」が最も多く、次いで「胃」、「大腸」の順となっている。女性では「膵臓」が最も多く、次いで「大腸」、「肺」、「胃」の順となっている。

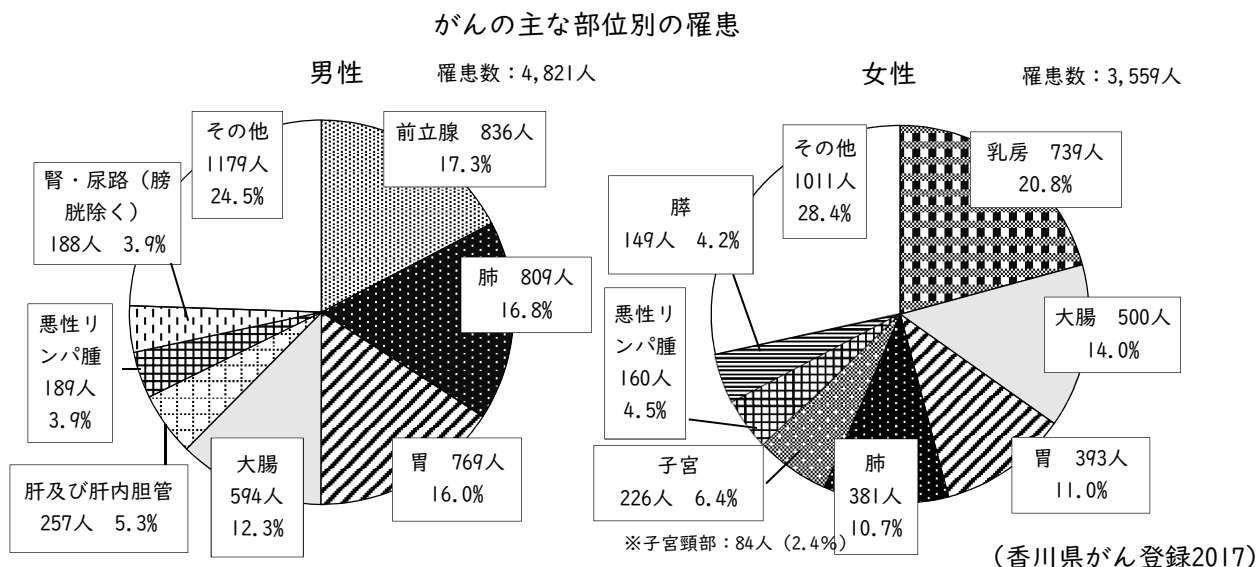
## ウ 年齢別にみたがんの死亡



令和元年に、総死亡に占めるがんの死亡者の割合を年代別にみると、男性では60歳代で最も多く4割を超えており、女性では40歳代で4割を超え、50歳代60歳代では5割を超えている。

## ②がんの罹患の現状

### ア 男女別・部位別にみたがんの罹患



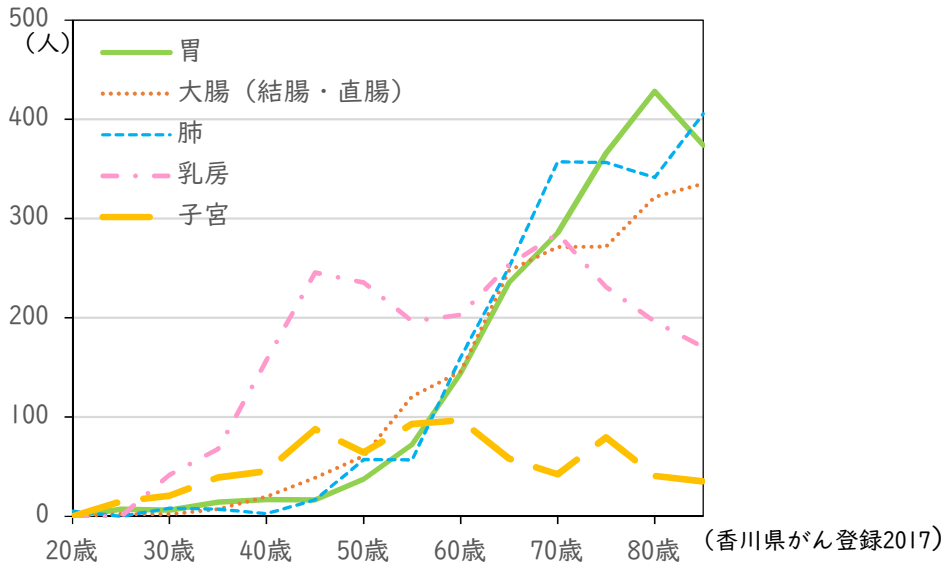
罹患患者数とは、新たにがんと診断された人数である。

令和元年のがんの罹患患者数は、男性4,821人、女性3,559人、計8,380人となっている。

男女別に部位別の内訳をみると、男性では「前立腺」が最も多く、次いで「肺」、「胃」の順となっている。女性では「乳房」が最も多く、次いで「大腸」、「胃」の順となっている。

## イ 年齢別にみたがんの罹患

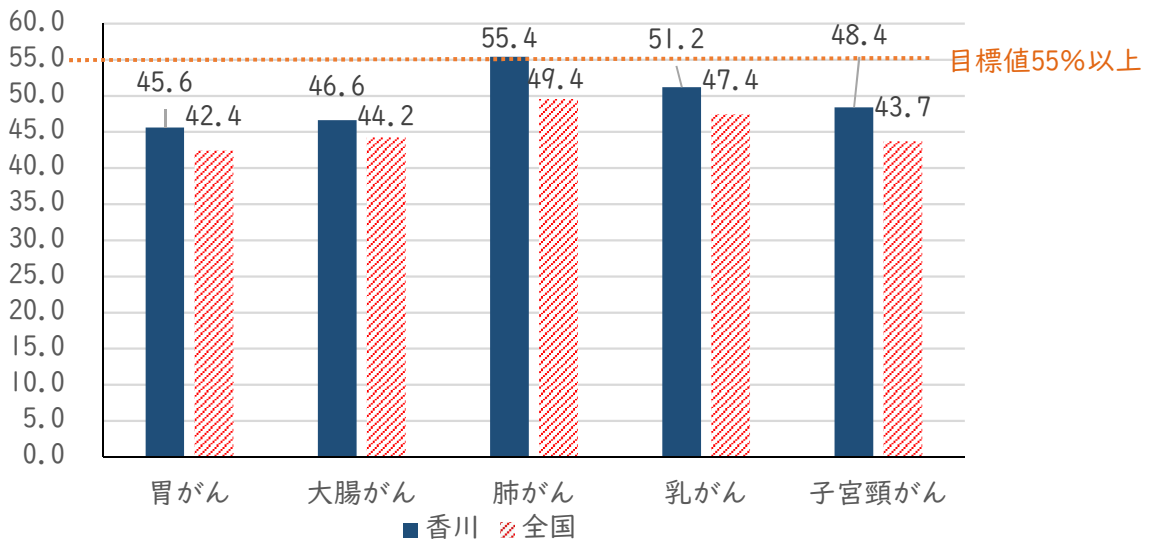
がんの年代階級別罹患率（人口10万人あたり）



人口10万人あたりの罹患患者数をみると、肺がん・胃がん・大腸がんは40歳代から増加している。女性のがんである乳がん・子宮頸がんは、20～30歳代の若年層で急増している。

## ③香川県のがん検診の受診率

香川県と全国のがん検診受診率（％）



（RI国民生活基礎調査）

全国と比べると、香川県はがん検診の受診率が高いが、県の目標値である55%以上は肺がん検診以外達成できていない。